

(第3種郵便物認可)

**穴粟** 千種高校(宍粟市千種町千草)の生徒会メンバーが6月11日、同校の体育館や運動場で、一般住民も参加できる無料の「こくろ映画祭」を開く。生徒発案の企画で、上映許可の交渉や大型スクリーンの提供依頼といった企業との調整や準備をこなした。生徒たちは「新型コロナウイルス禍でも社会の優しさが伝わる映画祭にしたい」と意気込む。(村上晃宏)

# 自分たちで企画

# 生徒会が映画祭

メンバーは2、3年生の14人。他人を思いやる優しさやエンターテインメントの楽しさを感じてもらおうと企画し、昨年9月から準備に取りかかった。

上映用の大型スクリーンやプロジェクターは、映像機器メーカー「オーエスエム」(同市山崎町梯)から無償提供を受けた。映画は、上映会用作品の供給・管理会社を通して配給会社から許可を得たほか、発展途上で移動映画館活動をするNPO法人ワールドシアタープロジェクト(東京)から作品提供を受けた。

複数の企業とのやりとりが必要で、慣れない交渉のほか、授業もあり、時間的な制約にも苦労したという。予算は当初、クラウドファンディングで募る予定だったが、配給会社から適切でないという指摘もあり、生徒会費の余剰金の活用を決め、生徒総会で了承を得た。

生徒会長の3年、南光開斗さん(17)は「初めての試みで苦労は多かったが、多くの人の協力を得られて貴重な経験となった。コロナ禍で大変だけど、リラックスして映画を楽しんでもらえれば」と話す。

何も無い大空の下で開くという意味で「虚空」を映画祭の名称にした。2部制

## 上映交渉、スクリーンも準備

千種高で来月

で、1部は午後3時45分から体育館でCGアニメ「ソウルフル・ワールド」、2部は午後6時45分から運動場で短編「映画の妖精フィルとムー」と長編「ワンダー君は太陽」を上映する。

運動場にはレジャーシートを持参。雨天時は体育館のみで実施する。事前申込制で、同校ホームページから申し込める。先着600人。同高☎0790・76・2033

映画祭を企画した千種高校生徒会のメンバーたち(左から)宍粟市千種町千草

住民も参加「優しさ感じて」

